

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

## ②施設・事業所情報

名称：十日市場こども園	種別：認可保育所
代表者氏名：矢野由美子	定員（利用人数）： 68（69）名
所在地： 横浜市緑区十日市場848番地1 郵便番号226-0025	
電話：045-982-8331	ホームページ： <a href="http://kodomonomori.co.jp/to/">http://kodomonomori.co.jp/to/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日： 2006（平成18）年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 こどもの森	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 5名
専門職員	保育士： 14名
	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室2、調理室1、事務室兼医務室1、倉庫1
	園庭、避難階段、空調設備、厨房設備、トイレ、洗面所

## ③理念・基本方針

- 1) 基本的な生活習慣を身につけ、健やかな成長を培う。
- 2) 遊びや生活を通して人との関わりを多く持ち、豊かな心情や人を大切にする心を育む。
- 3) 様々な経験を通して豊かな感性や想像力を育む。
- 4) 生活の中で言葉をよく聞き、よく話す環境を作り、言葉への興味や関心を育む。
- 5) 家庭的な雰囲気の中で安心して自分を表現する力を培う。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

◇立地および施設の概要  
 運営法人は株式会社こどもの森（以下、「法人」という）で、2006（平成18）年4月1日に開園した認可保育所です。  
 JR横浜線十日市場駅から徒歩10分、近くに公園や中学校があり自然が多い環境です。園舎は2階建て、2階に乳児クラス、1階に幼児クラスを配置し、年齢別保育室を確保するなど、子どもの成長に適した環境のもとに保育を提供しています。  
 園舎の年数経過を踏まえ、長期修繕計画を立て実行しているところです。

◇特徴的な取り組み  
 保育目標として「健康で丈夫な子、優しい気持ちの子、あいさつのできる子、豊かな表現のできる子」を掲げています。子どもは生活や遊びの体験を通して学びます。遊びの保育に力を入れ、発達に合せたメリハリのある遊び、自発的な遊びと設定された遊びのバランスを考え、ねらいを持ってタイミングを見極めながら実施しています。遊びの集団の中で子ども同士が育ちあう姿を尊重し、見守る保育を大切に、子どもの主体性を育てています。より多くの体験を用意しています。  
 外部講師の体操指導を導入し体力や体幹がついて来ました。併せて、マナーや体操を通して、互いの成長、やってみる勇氣、やり抜く力、達成感などを育み獲得しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月8日（契約日）～ 2023年4月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2008、2017、2022年度）

⑥総評

◇特長

① 子どもが豊富な経験のできる計画を工夫し、職員も一緒に楽しみながら充実させています

子どもにとって園ならではの豊富な経験ができるよう内外の活動を工夫しています。子どもの主体性を育み、やりたい気持ちを捉えて発展させています。職員が得意とするサイエンス（科学実験）やダンスを取り入れ子どもと楽しんでいます。楽しさが広がり保護者からも評価されています。今年（2022年）度の体操指導では身体作りだけでなくマナーや外部講師との関わりで子どもの成長が見られ、保護者から信頼を得ています。発達に合わせた製作や楽器遊び、感触遊び、ごっこ遊び、食育活動などのほか、幼児は文字や数への関心も培っています。

② 保護者の負担を軽減し、安心して働ける環境づくりに努めています

登園時の持ち物が少なくするとともに、子どもとの時間を少しでも多く持てるよう配慮し子どもとの時間を大切にしています。午睡用寝具の洗濯やおむつの廃棄、文具なども園で用意しているほか、行事などでの準備も職員が工夫しています。今年度より手書きの「連絡帳」をスマホによる「連絡帳」アプリに切り替え、利便性を高めています。降園時、玄関にタブレット端末を設置し、日中活動や子どもの様子を伝えたり、製作品などを飾ったりと、『見える保育』に取り組んでいます。急な残業などにも対応し保護者支援に努めています。

③ 子どもの生活を充実させるため保護者との連絡・連携を密にしています

保護者との密な連絡・連携のため電子連絡帳を活用しています。子どもの健康状態や保育の様子なども見ることができ、また、行事やイベントの連絡もこまめに受けることができます。さらに、毎月の「ここにこだより」など子どもの保育目標や日常の姿を写真で見ることができます。年齢ごとの保育目標や、「保健だより」など生活全般のことがその時期にあった内容になっています。園長の指示のもと、保護者とのコミュニケーションを大切にしています。日々の会話を重ね子どもの成長をともに育んでいます。

◇今後期待される点

① 経験の浅い職員が専門的知識の修得や経験を積む機会の設定が期待されます

規律や研修など取組み方が職員によって異なることから、「子どもにとって」の視点で話し合う機会を多く持つことによって意識の統一・向上を図っています。何気なく見守るのではなく、どのような視点で見守るか、子どもの成長によりその視点も変化させる必要があることを意識できるようになってきています。保護者対応でもコミュニケーションを深める力をつけてきたと評価しています。今後、先輩職員や外部講師の保育や指導を見習い、研修などで職員の質を上げられるよう、保育の専門的知識や技術、経験を獲得する機会の設定が期待されます。

② 保護者が安心して園の活動に関わる工夫や地域との新たな繋がりが望まれます

新型コロナ禍により、保護者が園舎内に入れないという制限が徐々に緩和されつつあるものの、まだ見通しは立っていません。保護者との連携方法として、参観日に日常を撮影した動画を見てもらっていますが、WEB会議システムや動画配信などの活用によって安心して関われる方法を模索しています。地域との繋がりもかなり制限されています。再開を待つだけでなく、子どもが関われる場面や方法を探り新たに取入れることが期待されます。

③ 園の中・長期計画と単年度事業計画で、園の取組みを明確にする工夫を期待しま

す

法人は「教育経営計画書」を中・長期計画と位置づけていて、これをもとに園の中・長期計画及び単年度事業計画を策定しています。各計画の策定にあたり、評価・分析を行っていますが、こうした評価・分析から抽出した課題を次の計画に盛り込むこと…園の中・長期計画の期間と具体的な到達点を明示することによって、中・長期計画の各年度の達成度や取組み内容が見えやすくなることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて、いろいろな視点から保育園全体を見ることができました。職員が子ども達といきいきと活動していることや保護者の皆様に安心して預けて頂いていると実感できてよかったと思っています。今後はさらに子ども達の情報が保護者の皆様にお伝えできるよう考えていきたいです。長期的な見通しを立てて快適な保育園生活になるよう目指していきます。保護者の皆様にはアンケート等ご協力を頂きありがとうございました。これからも笑顔で安心して過ごせる保育園になるよう職員一同努めて参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり